

## 第3章 ハザードマップで危険を知ろう

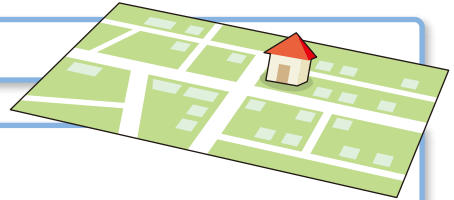
# 危険を確認



ハザードマップで災害リスクを把握し、どのような災害が起こりやすいかを把握し、災害に対しどのような行動をとるのか整理しておきましょう。

### ① ハザードマップの使い方の流れ

1 各ハザードマップで自宅を確認し、印をつけます。



2 自宅の「危険の内容」を確認します。  
自宅の浸水深や、土砂災害の可能性などを確認します。

3 2の内容を元に「立退き避難」か「在宅避難」を決めます。

- 危険な場所の方は、基本、自宅以外の場所へ「立退き避難」を計画します。

P7 「立退き避難」

- その他の方は自宅で「在宅避難」を計画します。
- 自宅が危険な場所でも3条件を満たす人は「在宅避難(垂直避難)」※も可能です。

※P7 「在宅避難(上階への垂直避難)」の3条件

4 「立退き避難」  
避難先と避難経路の安全を確認します。

「在宅避難」  
自宅で備蓄と停電・断水時の備えを確認します。

5 避難を判断するタイミングを整理します。

P8～ 「避難を判断するタイミング」

#### 風水害

避難に時間のかかる方は警戒レベル3で避難開始、その他の方は警戒レベル4で避難し、警戒レベル4までに完了します。

#### 大地震

津波浸水想定区域の人は避難します。区域外でも建物が安全ではないときは避難します。※敷地内にとどまる在宅避難もあります。

6 マイ避難カードを作ります。  
※避難に支援が必要な人は個別避難計画(個別避難支援計画)も作ります。

P149 「マイ避難カード」

7 自分や同居家族の助けだけでは避難できない方は、地域に避難の支援を依頼します。

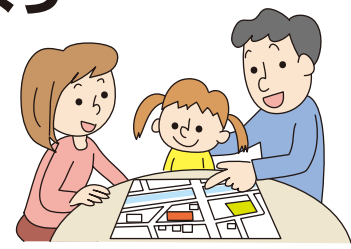
※実際に、避難経路を通して避難訓練をしてみましょう。

自宅の「危険の内容」は、次のページで整理をします。  
それでは、実際に次のページをめくってハザードマップを確認しましょう。

## ② 実際に「避難行動」を確認しましょう

各ハザードマップで自宅を確認し、印をつけます。

- 洪水・土砂災害(P31) ● 高潮(P93) ● ため池(P121) ● 津波(P67)



### 洪水・土砂災害・高潮

- 自宅の「危険の内容」を確認します。

各ハザードマップを見て当てはまるものに○を入れ、○が入った人は避難をします。

災害	災害想定 ※自宅の該当想定に○を入れます。		左欄で○が入った家は下記の避難行動を検討します。
洪水	洪水浸水想定	0.5m未満	<input type="radio"/>
		0.5～3.0m	<input type="radio"/>
		3.0～5.0m	<input type="radio"/>
		5.0m以上	<input type="radio"/>
	家屋倒壊等氾濫想定区域内	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本的に立退き避難をします。</li> <li>• 3条件を満たす場合は在宅避難(垂直避難)も可能です。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 頑丈な建物の上層階など、安全な場所がある</li> <li>② 十分な水や食料、生活用品の備えがある</li> <li>③ 停電や断水、トイレの備えがある</li> </ol> </li> </ul>
土砂災害	土砂災害警戒区域	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本的に立退き避難をします。</li> <li>• 堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合、屋内安全確保も可能です。</li> </ul>
	土砂災害特別警戒区域		
	土石流危険渓流		
	地すべり危険箇所		
	山腹崩壊危険区域		
	崩壊土砂流出危険区域		
高潮	高潮浸水想定	0.5m未満	<input type="radio"/>
		0.5～3.0m	<input type="radio"/>
		3.0～5.0m	<input type="radio"/>
		5.0m以上	<input type="radio"/>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本的に立退き避難をします。</li> <li>• 3条件を満たす場合は在宅避難(垂直避難)も可能です。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 頑丈な建物の上層階など、安全な場所がある</li> <li>② 十分な水や食料、生活用品の備えがある</li> <li>③ 停電や断水、トイレの備えがある</li> </ol> </li> </ul>

- 避難行動を決めます。

自宅は危険な場所ではない	<input type="radio"/>	在宅避難、建物の安全な場所で安全を確保
自宅は危険だが垂直避難をする	<input type="radio"/>	
自宅は危険な場所である	<input type="radio"/>	立退き避難

- 立退き避難をするタイミングを整理する。

避難に時間がかかる人(高齢者や障害者等) 避難に時間がかかる人と一緒に避難する人	<input type="radio"/>	警戒レベル3 高齢者等避難、警報等で避難開始
上記以外の人は全員	<input type="radio"/>	警戒レベル4 避難指示、警戒情報等で避難開始、完了 ※周辺の状況変化には注意

※夜間の避難は危険です。明るいうちに早めの避難をしましょう。

### ため池(水害・地震)

歩行不可能区域	<input type="radio"/>	基本的に立退き避難をします。水流で木造家屋に被害が出る恐れがあります。頑丈な建物の上階に避難も可能です。
歩行困難区域	<input type="radio"/>	
歩行可能区域	<input type="radio"/>	基本的に立退き避難をしますが、上階に垂直避難も可能です。

### 津波(地震)

津波浸水想定区域	<input type="radio"/>	全員、高いところへ一時避難します。 ※津波は流速が速く、想定外の高さの場合もあります。
----------	-----------------------	--